令和6年 第11回

武蔵野市教育委員会定例会

令和6年11月6日

於 教育委員会室

武蔵野市教育委員会

令和6年第11回武蔵野市教育委員会定例会

○令和6年11月6日（水曜日）

○出席委員（4名）

教育長職務代理者	清水健一	委員	岩崎久美子
委員	森田亮	委員	岸本葉子

○事務局出席者

教育部長	真柳雄飛	教育企画課長	牛込秀明
教育企画課 学校施設担当 課長	田中丸善史	指導課長	荒井友香
統括指導主事	高丸一哉	教育支援課長 (兼教育相談 支援担当課 長)	祐成将晴
生涯学習 スポーツ課長 (兼武蔵野 ふるさと歴史 館担当課長)	高橋徹	生涯学習 スポーツ推進 担当課長	茂木孝雄
図書館長	森本章稔	企画調整課 行政推進担 当課長	福田龍介

○日 程

1. 開会の辞
2. 事務局報告
3. 議 案 第15号 武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスの指定管理者の指定について
第16号 武蔵野市立体育施設の指定管理者の指定について
第17号 武蔵野市立吉祥寺図書館の指定管理者の指定について
第18号 武蔵野市立武蔵野プレイス条例の一部を改正する条例
第19号 武蔵野市立体育施設条例の一部を改正する条例
第20号 武蔵野市歴史公文書等の利用等に関する規則の一部を改

正する規則

4. 協議事項

- (1) 武蔵野市営プールの整備方針（案）について

5. 報告事項

- (1) 令和7年度予算概算要求査定結果（教育部）について
- (2) 武蔵野市教育委員会児童生徒表彰実施要綱の一部を改正する要綱
- (3) 武蔵野市立学校給食弁当代替者補助金交付要綱の制定について
- (4) 令和6年度 東京都児童・生徒 体力・運動能力、生活・運動習慣等調査報告について
- (5) 武蔵野ふるさと歴史館のリニューアルオープン式典及び記念イベント等の開催について
- (6) 武蔵野市立武蔵野プール及び武蔵野温水プールの整備方針に関する有識者会議報告書について

6. その他

◎開会の辞

○清水教育長職務代理者 開会に先立ちましてご挨拶いただきたいことがございます。

去る9月18日に開催されました令和6年第3回市議会定例会において、高橋委員の後任の教育委員として岸本委員が任命の同意を得て、11月1日付で就任いたしました。つきましては、ここでご挨拶をいただきたいと存じます。

○岸本委員 皆さん、こんにちは。岸本葉子です。11月1日に教育委員を拝命いたしました。武蔵野市には37年間住んでおります。日頃は文筆活動をしております。教育に関しては、主に大人の生涯学習について、民間団体や公益財団法人で携わってまいりました。

このたびは、児童・生徒を含む幅広い教育という課題をいただきました。知見の少ない分野ではございますが、皆様のお導き、お支えをいただきまして務めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。（拍手）

○清水教育長職務代理者 岸本委員、ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから令和6年第11回教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、武蔵野市教育委員会会議規則第36条の規定により、議長において、森田委員、岸本委員、私、清水、以上3名を指名いたします。

次に、傍聴についてお諮りいたします。

定員の範囲内で傍聴の申込みがあった場合、本日の傍聴を許可することに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○清水教育長職務代理者 それでは、傍聴を許可いたします。

◎事務局報告

○清水教育長職務代理者 これより議事に入ります。

本日の議事のうち、報告事項1、令和7年度予算概算要求査定結果（教育部）については、来年度予算に関する案件ですので、最後に非公開で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、非公開といたします。

それでは、事務局報告に入ります。

教育部長から報告いたします。

○真柳教育部長 それでは、前回の定例会以降の教育委員会の状況等について報告します。

9月18日から25日まで市議会決算特別委員会が開催されました。9月25日に教育費の審査が行われましたので、主な質疑をご紹介します。

まず、各校でエアコンが設置されていない部屋へのエアコン設置に関するお尋ねには、児童・生徒が日常的に使用する部屋について、限られた予算の中で使用頻度や運用状況などを精査して、優先順位を見極めて順次設置していること、空調を設置していない部屋については、夏の期間は代替りの部屋を使うなどの対応をしているが、実態を把握した上で対応を考えていくこととお答えしました。

次に、開かれた学校づくり協議会モデル校の成果と課題に関するお尋ねには、成果としては、大学生など若い世代から委員を選出するなど、多様な世代で構成することで多様な意見が得られること、また、課題としては、様々なご意見の全てを学校教育に入れ込むことが難しいことから、整理が必要であることをお答えしました。

次に、不登校の児童・生徒を対象として、桜堤調理場で給食を提供する事業の収支に関するお尋ねには、学校支援というスマートフォンのアプリで全保護者に情報を配信するとともに、スクールソーシャルワーカーやプレイス交流を通じて個別にチラシを渡すなどの案内を行っていることとお答えしました。

次に、校内で不登校対応に当たる常駐型の家庭と子どもの支援員の成果に関するお尋ねには、13校まで拡充してきたこと、中学校は不登校巡回指導員と連携して各校の良い事例を共有できていること、今後、支援員同士の情報共有にも取り組んでいきたいこととお答えしました。

次に、武蔵野ふるさと歴史館の事業の成果に関するお尋ねには、歴史館大学の公文書講座は6年目となり、受講生も学びの蓄積ができたことから、学び送りの事業として開館10周年のリニューアルの際に、受講生たちによる企画展示を予定していることとお答えしました。

次に、図書館の人材育成、ノウハウの継承に関するお尋ねには、館内整理日を活用して、ベテランの職員を講師として窓口に出る職員を対象とした研修を行うとともに、図

書館職員を司書養成講習に派遣することなどにより専門性を確保していることをお答えしました。

議会に関しては以上でございます。

次に、教育委員会に関することです。

10月11日から16日にかけて、第40回武蔵野市民会館文化祭を開会しました。今年度はテーマを「祝40周年不惑のワクワク文化祭」として、市民会館内で作品展示や各種講座を開催したほか、スイングホールでは芸能発表会を開催しました。作品展示、各種講座では27団体、芸能発表では18団体の参加があり、日頃の学習の成果を発表していただきました。

11月2日には、総合体育館にて「サイエンスフェスタ2024」を開催しました。雨天により、陸上競技場にて開催予定していた2ブースが中止となってしまいましたが、およそ1,500名の方にご来場いただきました。土曜学校サイエンスクラブのブースでは、ふだんクラブでは教えてもらう立場の子どもたちが、この日は自分たちがクラブで学んだことを来場された方々に熱心に説明する光景が随所に見られました。

次に、11月3日に開催した第18回むさしの教育フォーラムについてご報告します。

今回は、「あなたも『開かれた学校づくり協議会』のメンバーになれる？」～学校と地域が協力して子どもの学び・育ちを支える環境を目指して～」をテーマで行いました。実践紹介では、学校、家庭、地域の協働体制に係るモデル校の境南小学校、第一中学校に実際の活動の様子を紹介いただきました。パネルディスカッションでは、開かれた学校づくり協議会委員の代表、学校代表、学識経験者、教育委員会から森田委員にもご参加いただき、開かれた学校づくり協議会で学校は開かれるのかについて議論を深めていきました。

当日は、教員、保護者、地域、市議会議員など、発表者等を含めて合計90名の方にご参加をいただきました。アンケートでは、今までの開かれた学校づくり協議会は、参画する仕組みや傍聴、議事録公開など、普通の保護者や地域住民には開かれていないと感じていたのが、来年度からどのように変わるか楽しみです。疲弊した学校を応援したいが、どうすればよいのか分からないと保護者も思っています。当事者意識をみんなが持つためにも、メンバーを替えていく、フィードバックをする必要があると思います。来年度以降もこんなふういろいろな学校の協議会の様子を聞き、自校の特色を生かしながらも他校のいいものを取り入れていけるような形ができていくといいなと思いました。

などのご意見が寄せられました。

今回の取組を市立小・中学校の各校の開かれた学校づくり協議会等と共有し、来年度からの機能強化した開かれた学校づくり協議会の全校展開に向けて準備を進めていきます。

次に、第9回武蔵野市子ども図書館文芸賞について報告します。

7月4日から9月17日まで作品を募集し、844点の応募がありました。内訳は、小説、童話、随筆は9点、詩は102点、読書感想文は590点、読書感想画、POP、帯は140点でした。今後、選考を行い、来年2月に受賞発表、表彰式を行う予定です。

次に、市内の学校の状況について報告します。

10月18日をもって今年度のセカンドスクールとプレセカンドスクールは全て終了しました。引率された各校の校長先生をはじめ先生方、現地関係者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

10月は、体育的行事や文化的行事など、各校で様々な取組が盛んに行われました。小学校では、運動会を10月12日に第四小学校、19日に桜野小学校、26日に大野田小学校、境南小学校、井之頭小学校で実施しました。また、文化的行事として、10月25、26日に本宿小学校がはとの子発表会を、千川小学校はSENKA輪発表会を実施しました。

中学校では、10月18日から10月19日まで第三中学校がくぬぎ祭を、10月19日に第一中学校が一中フェスタ、第四中学校が四中祭、第六中学校が合唱コンクールを、10月22日に第五中学校が文化発表会を、10月25日に第二中学校が音楽祭をそれぞれ実施しました。

各校では、子どものアイデアを生かした表現活動や学習内容を生かした発表、保護者、地域との協力による取組など、様々な工夫が行われました。引き続き11月にも学校行事をはじめ、様々な取組が各校にて予定されています。

次に、吹奏楽団の活動状況についてですが、10月13日に水戸市民会館で開催された東日本学校吹奏楽大会に第三小学校吹奏楽団が出場し、銀賞を受賞しました。10月26日には、札幌コンサートホールKitaraで開催された全日本小学校ブラスバンドフェスティバルに東京都を代表として第一小学校吹奏楽団が出場し、金賞を受賞しました。

次に、令和6年度東京都小学生科学展についてですが、本事業は、全都から選ばれた小学生が自ら決めたテーマについて深く研究した成果を発表することを通して、理数に対する能力をさらに高めるため、東京都教育委員会において平成27年度から行われているものです。

各都市、各区市町村から代表作品1点が提出され、都内会場にて展示発表されます。今年度本市では、各校から10作品の推薦があり、その中から第一小学校6年、米倉悠眞さんの金魚の行動特性についてを市の代表作品として提出したところ、東京都教育委員会賞を受賞しました。作品は、この後、1月10日から12日までの期間で江東区の日本科学未来館にて、1月24日から26日までの期間で八王子市の東京たま未来メッセにて展示発表が行われます。

今年度から新しい取組として、本作品を含む各校からの小学校科学展に推薦された作品については、11月2日に本市総合体育館にて行われたサイエンスフェスタにて展示、口頭発表を行い、多くの子どもたちや保護者の方など、広く市民の方に紹介しました。

以上で事務局報告を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの報告に質問、ご意見がありましたらお願いします。

森田委員。

○森田委員 最後の小学生科学展なんですけれども、教育委員会賞を受賞したというのはすごいなと思いました。ちなみに賞の金賞、銀賞、銅賞は、幾つぐらい受賞があるのでしょうか。

○清水教育長職務代理者 統括指導主事。

○高丸統括指導主事 東京都教育委員会が行う東京都小学校科学展ですけれども、今お話しさせていただきました東京都教育委員会賞のほかに、東京都知事賞というのがございます。こちらが全作品の中から1点選ばれる形になっております。

東京都教育委員会賞につきましては、本市の代表作品含めて5つの作品が受賞しております。また、特別賞が1点選ばれておりまして、そのほか、全作品が優秀賞という形で受賞しています。

以上です。

○清水教育長職務代理者 岩崎委員。

○岩崎委員 私も同じところ、特に最後の11月2日にサイエンスフェスタで広く市民に紹介して口頭発表を行ったというのはとてもいい試みだったと思います。全作品の中の1点ではなくて、学校の中で出された作品をすべて学校の中で展示するような、そういった機会があるとなおいいと思いました。

サイエンスフェスタのこの口頭発表は初めての試みとのことですが、市民などの一般の参加者の雰囲気や感想がわかれば教えてください。

○清水教育長職務代理者 指導課長。

○荒井指導課長 改めて本件の発表のみの感想というのは取っていないのですが、サイエンスフェスタ全体の感想ではなくて、本件ということでいえば、ちょうど米倉君が発表しているとき、私その場にいたんですけれども、来場してスタート時に冒頭で発表していたんです。来る人来る人が少し足を止めて、ブースの中をうかがうような形で、中には足を止めてそのまま入ってくれる人もいて、そのときには、ぱっと私の記憶で恐縮なんですけれども、保護者の方、次の発表の方がもともとブースの中に入れて、その後入ってきた人が大体七、八人くらいは足を止めて聞いてということをしていました。

その後も、作品自体は飾ってありましたし、会自体は続いておりましたので、発表後も次々に人が入ってきてという形だったかなと思います。

○清水教育長職務代理者 生涯学習スポーツ課長。

○高橋生涯学習スポーツ課長 では、サイエンスフェスタ全体の様子についてご報告申し上げますと、昨年度は4年ぶりか5年ぶりの自由来場ということで、今年度も引き続き自由来場でございました。昨年度、大体一般の方1,800名のご来場をいただきまして、今年もかなり期待したんですが、あいにくの雨でございまして、ペットボトルロケットと紙コプターが中止になりました。また、どうしても雨ですので出足もあまり良くなかったということで、そうはいいまして1,500名の方にいらっしやっていたということで、非常に感謝しております。

今回初めて武蔵野大学さんもお参加いただきまして、改めて中学校、高校、大学、一般企業、地域のNPOの方々にもご参加いただきまして、みんなで子どもたちの科学に対する興味を盛り立てたというような感想を受けたところでございます。

以上でございます。

○清水教育長職務代理者 私から、今岩崎委員もお話しされたんですけども、今年教育委員会賞をいただいて、サイエンスフェスタで発表しましたよね。それを見ていた子どもたちがいると思うんですが、ああ、ああいうことをやってみたいとか、来年もやるんだったら自分も何か研究に取り組んでみたいなというきっかけになったと思うんですね。ですから、今回教育委員会賞をいただいたのでそういう機会をつくったんですが、来年以降は、もし教育委員会賞じゃなくてもそういう機会をつくって、あの場で何か発表できるような機会があったらいいなと、感想ですけれども思いました。

指導課長。

○荒井指導課長 ご提案ありがとうございます。

教育委員会賞を取ったからということではなくて、そもそもサイエンスフェスタで今年度から発表するように準備をしていた中で賞を取ったという関係、時系列はあるんですが、ご指摘のとおり、毎年発表の機会をいただいたり、あるいは先ほど岩崎委員からお話があったように、校内で紹介することによってベースがどんどん上がっていくという期待をしておりますので、そのような取組は紹介していきたいなと思います。

○清水教育長職務代理者 ありがとうございます。

では、ほかによろしいですか。

◎議案第15号 武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスの指定管理者の指定について

○清水教育長職務代理者 次に、議案に入ります。

議案第15号、武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスの指定管理者の指定についてを議題といたします。

それでは、説明をお願いします。

生涯学習スポーツ課長。

○高橋生涯学習スポーツ課長 それでは、私より議案第15号、武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスの指定管理者の指定についてご説明申し上げます。

この議案は、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき提出するものでございます。今回提出する本第15号と、以降の第16号の武蔵野市立体育館の指定管理者の指定について、第17号の武蔵野市立吉祥寺図書館の指定管理者の指定については、指定管理者制度の導入及び選定に関しまして、令和7年度から令和11年度までの本市の基本方針を定めました指定管理者制度に関する基本方針により、非公募による選定を行うものでございます。

ここで方針について若干ご説明させていただきますと、指定管理者制度に関する基本方針につきましては、指定管理者の選定に当たっては原則公募とされておりますが、事前に参考として配付させていただきました基本方針のとおり6つの要件がございまして、いずれかに該当するほか、現指定管理者以外の候補が見込めない場合は非公募によるものとされております。

選定に当たっては、選定する団体に対して申請書等の提出を求め、要求水準以上の管

理が可能か等の審査を行うこと、要求水準に満たない場合は、再度提案を求めるものとされており。また、非公募による場合は、非公募の具体的な理由及び申請書等の審査の内容等を市のホームページで公開するものとされており。

今回の武蔵野プレイス、吉祥寺図書館、武蔵野総合体育館については、市の施策を実現するための拠点となる施設で、その施設において事業を実施する主体に対しては、市が密接に関与する必要がある施設とされ、武蔵野総合体育館の近隣に設置されている武蔵野市陸上競技場のほか5施設は、いずれかの理由により非公募になる施設、今回でいえば武蔵野総合体育館になりますが、体育館と隣接または近接しており、それら施設を同一の指定管理者が一体的に管理運営することで効率的、効果的な運営が期待できる場合に該当するため、今回非公募による指定を行うものでございます。

それでは、武蔵野プレイスの議案に戻ります。

武蔵野プレイスの指定管理者につきましては、従来指定しておりました公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団を指定するというもので、指定期間につきましては、令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間でございます。

指定をする公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団は、平成元年に設立されて以来、市内において文化施設、スポーツ施設、生涯学習施設等の安全安心な管理運営を行っており、本市における生涯学習推進に重要な役割を担っております。

平成22年からは、武蔵野プレイスの指定管理者として、市民の活動支援型施設を目指し、生涯学習だけでなく、図書館、市民活動、青少年活動支援等の一体的な事業連携を展開しており、モニタリング評価においても期待以上、非常に優れた成果を上げており、良好な施設運営を行っていると評価できます。これまでの実績とともに、今後の事業計画においても様々な複合機能を生かした事業が計画されており、今後も十分な成果が期待できると考えております。

議案の参考といたしまして、施設の概要や指定管理者の概要、事業計画等を記載しておりますので、ご確認いただければと存じます。

また、事前に募集要項、要求水準書、審査表等を参考として各委員には配付させていただいたものでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。

森田委員。

○森田委員 これは、プレイスの指定管理者を公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団にしますよということですよ。一緒につけていただいていた関連資料のチャートのようなものに沿っていくとプレイスは非公募であるということで、従来どおり公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団にお任せするということですよ。

(「はい」の声あり)

○森田委員 では大丈夫です。

○清水教育長職務代理者 ほかにいかがでしょうか。

岩崎委員。

○岩崎委員 かつて公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団の仕事をしたことがあるので、その後、新たに文化の領域が事業団に加わったことに伴って、プレイス、体育施設とか図書館とかの運営に関して、何か変化や影響があれば教えてください。

○清水教育長職務代理者 生涯学習スポーツ課長。

○高橋生涯学習スポーツ課長 事業団の合併による効果でございますが、まだまだ実際のところこれからかなと所管としては思っておりますが、まず取組といたしまして、文化と生涯学習とまとめて掲載しているような広報紙を統一的に作成したことや、あと、オルガンコンクールでエントリーされた方の演奏をギャラリーで披露していただいたとか、あと、図書館等は従前どおりかもしれないんですが、最近の例でいいますと、先日ご報告いたしました自由大学の乃南アサさんに学長に就任していただきました際は、図書館のほうで特集展示などを行っていただきまして、改めて本のご紹介と自由大学の市民に対するご紹介をしていただいたというような連携した取組を行っているところでございます。

以上でございます。

○清水教育長職務代理者 お願いします。

○岩崎委員 非常に連携がうまく行っているというのは今のご説明でお聞きして安堵したところです。ということは、図書館、体育施設、あるいは文化施設、それらが一括して事業団になったことで統合的に事業が行われるようになったということかと思えます。今後、指定管理を施設ごとに検討していくのに当たっては、図書館は別の指定管理に出すとか、あるいは文化的施設を別の指定管理に出すというばらばらなことはせず、今後もこれらの施設は全て一括して事業団にお願いするイメージで考えていてよろしいのでしょうか。

○清水教育長職務代理者 行政経営・自治推進担当課長。

○福田企画調整課行政経営・自治推進担当課長 行政経営・自治推進担当課長、福田と申します。

指定管理全般のお話ですので、所管している企画調整課からご回答させていただきます。

今後一括しての公募、指定というお話がございましたけれども、基本的には先ほど担当課長からご説明ありましたとおり、指定管理者制度に関する基本方針というものを、その指定管理の期間に併せて定めているものでございます。今回は令和7年度から令和11年度までの期間の方針を定めて、それに基づきまして今回指定を行っているものでございます。

その時々々の状況、それから、今回初めてほかの施設ですけれども公募を行いましたので、そういった公募の結果等も踏まえまして、次期の令和12年度からの方針を今後改めて定めていくことになると思います。

そういった中で、今非公募で指定をしているものについて、それから一括の話等についても、その方針を策定する中で検討していくものというふうに認識しております。

以上です。

○清水教育長職務代理者 岩崎委員。

○岩崎委員 事業団の機能や所掌する領域は、文化、図書館、体育館、野外活動施設を網羅し多岐にわたるわけですが、それらの事業団の業務内容と施設との整合性があるかと思っておりますので、事業団の行っている役割と、それから、それに付随する施設との関係は、公募にするか非公募にするかを考える上で、丁寧に吟味して検討していただきたく思います。

以上です。

○清水教育長職務代理者 行政経営・自治推進担当課長。

○福田企画調整課行政経営・自治推進担当課長 ご指摘の点、承りました。やはり今まで財政援助出資団体として事業団が行ってきた大切な役割というものもございまして、そういったものも含めて指導監督の中で、各所管課と連携してやっていきたいというふうに考えております。

以上です。

○清水教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

森田委員。

○森田委員 時々よくニュースになるというか、みんな気にしているところだと思うんですけども、プレイスの前の広場は誰の管理なんですか。

○清水教育長職務代理者 生涯学習スポーツ課長。

○高橋生涯学習スポーツ課長 たしか最初の頃はプレイスが一括管理ということでやっていたことがあるんですが、今はちょっと管理が離れまして、プレイスはちょっとした清掃などを行っているのかなど。基本的には緑のまち推進課という公園部署が担当している部分になっております。

ただ、今改めて公園の活用といいますか、在り方について検討していると伺っているところでございます。

以上です。

○清水教育長職務代理者 よろしいですか。

森田委員。

○森田委員 芝生にするのか、あのまま土にしておくのかというのは結構気にしている地域の人も多くて、どうなんだろうなと思ったので聞いてみました。

○清水教育長職務代理者 ほかによろしいでしょうか。

私から一つ基本的なことをご質問したいんですけども、先ほど生涯学習スポーツ課長のお話の中にも含まれていたんですが、一般公募で指定管理者を決めると5年間続けていくわけですね。その事業評価の方法というのはどんな形でやられているのかというのを教えていただきたいんですが。

それでは、行政経営・自治推進担当課長。

○福田企画調整課行政経営・自治推進担当課長 指定管理の管理状況についての確認ということのご質問を承りました。

公募の施設、非公募の施設に限らず、年1回モニタリング調査を実施してございます。こちらにつきましては、例えば法令、それから条例、協定、事業計画等に基づきサービスが適正かつ確実に提供されていることの確認や、指定管理者導入の効果の測定ということで、市民サービスの質の向上や経費の節減の効果等を確認することを行っております。

具体的に申しますと、施設の主管課と指定管理者による一次評価を行いまして、その後、外部有識者を含めましたモニタリング評価委員会の意見、助言を踏まえまして市に

よる二次評価というものを実施しております。その結果につきましては、毎年ホームページ等で公表も行っているところでございます。

以上でございます。

○清水教育長職務代理人 岸本委員。

○岸本委員 今、1年単位での評価というお話がありました。今後、中期的な評価という局面も出てくると思います。そこにおいて留意しておきたいのが、この5年間、昨年まででしょうか、コロナ禍で生涯学習、文化、スポーツへの市民参加の在り方が大きく変わったということがあります。集まって文化活動、スポーツ活動をすることができずに、ある時期は様々な試みをしてアウトリーチ型の事業に転換していったという試みもなされています。

そうした転換期があったことを念頭に置いて中期的な評価をしていただくことをご提案いたします。ご提案するまでもなく、皆様、既にそういった基準をお持ちかと思いましたが、申し添えました。

○清水教育長職務代理人 よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。

議案第15号について採決に入りたいと思いますが、これに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理人 異議ないものと認め、採決に入ります。

議案第15号、武蔵野市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイスの指定管理者の指定について、本案を事務局提案のとおり決することに賛成ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理人 それでは、本案は事務局提案のとおり決定させていただきます。

◎議案第16号 武蔵野市立体育施設の指定管理者の指定について

○清水教育長職務代理人 次に、議案に入ります。

議案第16号、武蔵野市立体育施設の指定管理者の指定についてを議題といたします。

それでは、説明をお願いします。

スポーツ推進担当課長。

○茂木生涯学習スポーツ課スポーツ推進担当課長 それでは、議案第16号、武蔵野市立体

育施設の指定管理者の指定についてご説明いたします。

武蔵野市立体育施設は、武蔵野総合体育館、武蔵野陸上競技場、武蔵野軟式野球場、武蔵野庭球場、武蔵野プール、これは屋外プールでございます。武蔵野温水プール、緑町スポーツ広場、計7つの施設から成ります。先ほどの説明と重複いたしますが、改めてご説明いたします。

武蔵野総合体育館ほか6施設については、市が政策を実現するための拠点となる施設で、その施設において事業を実施する主体に対して市が関与することが必要である施設及びその施設と隣接または近接しており、それらの施設を同一の指定管理者が一体的に管理運営することで効率的、効果的な管理運営が期待できることから、非公募にて指定管理者の再指定に向けた審査を実施するものでございます。

それでは、議案書をご覧ください。

この議案は、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき提出するものでございます。

武蔵野市立体育施設の指定管理者には、従来指定してまいりました公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団を指定するもので、指定の期間につきましては、令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間です。

選定理由でございます。公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団は、平成元年に設立されて以来、市内において文化施設、スポーツ施設、生涯学習施設等の安全・安心な施設の管理運営を行っており、本市におけるスポーツ推進において重要な役割を担っております。平成17年度からは、体育施設の指定管理者として誰もがスポーツに親しめる環境づくりを目指し、施設の管理運営と各種の事業を展開してございます。モニタリング評価においても期待どおりの適正な運営が行われ、良好な施設運営を行っていると同様に、これまでの実績とともに、今後の事業計画においても様々なスポーツ事業等が計画されており、今後も十分な成果が期待できるものでございます。

なお、参考として、施設の概要や指定管理者の概要、事業計画について記載しておりますのでご確認ください。

また、お配りしています資料については、募集資料の募集要項、要求水準書、審査表等は、今後市のホームページでも公表してまいります。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見ございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

(「大丈夫です」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、お諮りいたします。

議案第16号について採決に入りたいと思いますが、これに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 異議ないものと認め、採決に入ります。

議案第16号、武蔵野市立体育施設の指定管理者の指定について、本案の事務局提案のとおり決することに賛成ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、本案は事務局提案のとおり決定させていただきます。

◎議案第17号 武蔵野市立吉祥寺図書館の指定管理者の指定について

○清水教育長職務代理者 次に、議案に入ります。

議案第17号、武蔵野市立吉祥寺図書館の指定管理者の指定についてを議題といたします。

それでは、説明をお願いいたします。

図書館長。

○森本図書館長 それでは、ただいま議題となりました武蔵野市立吉祥寺図書館の指定管理者の指定につきましてご説明いたします。

吉祥寺図書館の運営につきましては、令和2年度から公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団を指定管理者といたしまして管理運営を委託しております。その指定に当たりましては、市教育委員会と理念が共有され、武蔵野プレイスのノウハウを生かし、プレイスと一体化した運営で安定的な事業の実施、維持向上が期待できること、また、プロパーへの登用制度、嘱託職員への無期雇用、研修の充実など、人材育成の定着を図っているというような理由で、同事業団を指定管理者として指定するものでございます。

現在の指定期間でございます令和2年度以降、指定管理者として吉祥寺図書館を運営する中で、毎年度行っております、先ほども出ましたけれどもモニタリングの評価も良好でございます。また、コロナ禍以降、来館者も毎年度増加している、良好な運営がされているということも踏まえまして、吉祥寺図書館が市の基本方針として定めております市と密接な連携を行う必要がある施設でもあることから、公益財団法人武蔵野文化生

涯学習事業団を引き続き指定管理者として指定するものでございます。

指定の期間につきましては、令和7年4月1日から令和12年3月31日まででございます。

説明は以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。

森田委員。

○森田委員 ここまで3つ指定管理者の指定ということで議案があったかと思えます。図書館の指定管理については特に問題ないんですけども、今年、スイングホールの指定管理の公募があったかと思えます。民間に委託することになったとニュースか何かで見たんですけども、それについて、今後こういう影響があるとか、何かあるようでしたら教えてほしいなと思えます。

○清水教育長職務代理者 それでは、行政経営・自治推進担当課長。

○福田企画調整課行政経営・自治推進担当課長 公募についてのご質問でございます。

先ほど来少し出ていますけれども、指定管理者制度に関する基本方針に基づきまして、公募の施設を5施設、この期間では公募の対象という形で位置づけをいたしました。

具体的に申しますと、武蔵野芸能劇場、それからスイングホール、かたらいの道市民スペース、武蔵野公会堂、自然の村の5施設を公募の対象として位置づけております。そのうちの公会堂と自然の村につきましては、大規模改修が控えていることもございまして、今回の公募の対象からは外したという状況でございます。残りの3つの施設について、今回一括して公募という形で行いました。

もともとの指定管理の考え方の一つにありますけれども、民間のノウハウを活用いたしまして、施設の効用を高めることを目的として指定管理者制度が導入されていることでもありますので、従前から公募の方針というのは定めてございました。ただ、その時々状況によりまして、やはり事業団をはじめ各財団等、市と密接に関係のある団体をお願いすることが効果的ということで判断してきたところですけども、ここで今回初めて3施設は公募したということで、複数の事業者から応募がございまして、それぞれ優れた提案がされました。何分にも来年度から始まることではございますけれども、施設の効用というのは維持・向上されるというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○清水教育長職務代理者 いいですか。

すみません、私から、今のご説明を伺って、定例会で図書館長には時々お話ししているんですけども、今、学校図書館というのがそれぞれの工夫によって環境がどんどん充実していっているなというのはすごく感じています。司書教諭や図書室サポーターですか、とてもよく頑張っていて、時代のニーズに合わせて進化していっているなという感じを受けているんですね。

吉祥寺図書館については、配架とかレイアウトとか工夫していますし、とてもよくやっているなというふうに思っているんですけども、わくわく感というか、リニューアルしてすごく気持ちいい場所になったとか、ぜひ行ってみたいとかという、そういう指定管理者の提案力にすごく期待しているんですけども、ぜひそういったあたりもお伝えいただけるとありがたいなというふうに思っています。

あともう一点、17ページに利用者ニーズの把握というのが書いてあるんですが、この中に利用者へのアンケート実施によって管理業務に関わる利用者満足度等を把握することなんですけども、利用者にはどういう形でアンケートを取るのでしょうか。

図書館長。

○森本図書館長 アンケートの聴取の方法でございますけれども、先ほどご説明をさせていただいたモニタリングの評価を行う際の基礎的な調査といたしまして、現地の図書館のほうで毎年度利用者を対象にアンケートを行うというところをやっております。ちょうど年度明けぐらいのタイミングでその調査を行いまして、それを基にモニタリングの評価というか、自己評価の中で、その結果を踏まえて記載をしまして、それを主管課としても判断をするというような取組を行っているところでございます。

○清水教育長職務代理者 分かりました。

その利用者というのは、来館した方に無作為に何か紙を渡すとか、あるいはQRコードで入ってやってくださいとか、何かそんな形でやるんですか。

図書館長。

○森本図書館長 アンケートの直接の取り方というところでございますけれども、吉祥寺図書館においては、その施設によってもしかすると違うというところはあるかと思いますが、来館した方に聞き取りをしてアンケート票のほうを作成する取り組みも行っているというふうには聞いております。

○清水教育長職務代理者 分かりました。ほかに。

岩崎委員。

○岩崎委員 今、森田委員から出た、今度新たに入った公募施設に関してですが、公募の場合に大企業がバックにいと、プレゼンも優れており、資料もきれいで優れた提案もなされ、全てに完成度が高く、選定委員の得点が高くなって、そういった大企業のところに決まる、そういう選定委員会を何回か経験しております。

地元選出の選定委員からは、選定後に利用してみると運営側の心が入っていない、住民目線じゃない、などの弊害もあると伺うことが多くありました。

先ほど岸本委員からもありましたように、選定のときのプレゼンの良さ、資料の完成度で決められてしまうことも多いため、選定後のモニタリングや評価は本当に重要だと思われまので、提案どおり行くのかというところのチェックは、担当課長によりしくお願いしたいと思います。

○清水教育長職務代理者 行政経営・自治推進担当課長。

○福田企画調整課行政経営・自治推進担当課長 ありがとうございます。

まず、今回公募いたしました施設の所管課につきましては、市民活動推進課というところが所管してございます。市民活動推進課とその決まりました公募の事業者のほうで、もちろんよく連携を取りながら当然事業は進められていくものということで、ご提案いただいた内容についても逐次主管課のほうでも管理をしていきますし、先ほど申しましたように、モニタリング調査の中でもきちんとチェックはしていきたいというふうを考えているところでございます。

○清水教育長職務代理者 岸本委員。

○岸本委員 岩崎委員のご意見に本当に同意いたします。よく民間の団体が入ると、本当に全国共通のパッケージを持ってくるというか、それはそれで大変刺激になりますけれども、そこで市民特性をいかに今度入ってくる業者さんに理解していただいて、その市民特性に応じてカスタマイズするというか、そのプロセスが非常に大事になってくると思います。そのプロセスへの注力を期待したいと思います。

○清水教育長職務代理者 ほかによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、お諮りいたします。

議案第17号について採決に入りたいと思いますが、これに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 異議ないものと認め、採決に入ります。

議案第17号、武蔵野市立吉祥寺図書館の指定管理者の指定について、本案を事務局提案のとおり決することに賛成ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、本案は事務局提案のとおり決定させていただきます。

◎議案第18号 武蔵野市立武蔵野プレイス条例の一部を改正する条例

◎議案第19号 武蔵野市立体育施設条例の一部を改正する条例

○清水教育長職務代理者 次に、議案に入ります。

議案第18号、武蔵野市立武蔵野プレイス条例の一部を改正する条例を議題といたします。

本件と、議案第19号、武蔵野市立体育施設条例の一部を改正する条例は同様の理由による改正であることから、一括して取り扱いたいと思います。これらの議案を一括して取り扱うことに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、説明をお願いいたします。

生涯学習スポーツ課長。

○高橋生涯学習スポーツ課長 それでは、先ほどご紹介いただきましたように、このたびの改正は、両条例、指定管理者が行うことができる業務を変更するほか所要の改正をするもので、同様の趣旨のため、私から議案第18号、第19号を一括してご説明いたします。

まずは、武蔵野市立武蔵野プレイス条例の一部を改正する条例、改正項目について、新旧対表にてご説明いたします。

第4条は、指定管理者が行う業務からプレイスの使用料の免除に関する業務を削除し、併せて号の繰上げをするものでございます。

第7条第3項につきましては、指定管理者が施設を優先的に使用できる事業について、教育委員会が認めるものに限定するというを追加するものでございます。

第11条につきましては、使用料の免除を行うことができる者を指定管理者から教育委員会に変更することに伴う字句の改正でございます。

附則は、この条例の施行期日を令和7年4月1日とするものでございます。

続きまして、武蔵野市立体育施設条例の一部を改正する条例の改正項目について、新旧対表にてご説明いたします。

第3条の2は、指定管理者が行う業務から体育施設の使用料の減額または免除に関する業務を削除し、併せて号の繰上げ等をするものでございます。

第6条第3項は、指定管理者が施設を優先的に使用することができる事業について、先ほどのプレイス同様、教育委員会が認めるものに限定することを追加するもの、裏面の第2号は、市のスポーツ振興または武蔵野市立の小学校もしくは中学校の教育活動等のために必要であると認める場合において、使用の承認を教育委員会へ変更することに伴う字句の改正でございます。

第8条は、使用料の減額または免除を行うことができる者を指定管理者から教育委員会に変更することに伴う字句の改正でございます。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。

(「なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、お諮りいたします。

議案第18号、第19号について採決に入りたいと思いますが、これに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 異議ないものと認め、採決に入ります。

議案第18号、武蔵野市立武蔵野プレイス条例の一部を改正する条例及び議案第19号、武蔵野市立体育施設条例の一部を改正する条例について、本案を事務局提案のとおり決することに賛成ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、本案は事務局提案のとおり決定させていただきます。

◎議案第20号 武蔵野市歴史公文書等の利用等に関する規則の一部を改正する規則

○清水教育長職務代理者 それでは、議案第20号、武蔵野市歴史公文書等の利用等に関する規則の一部を改正する規則について説明をお願いいたします。

ふるさと歴史館担当課長。

○高橋武蔵野ふるさと歴史館担当課長 それでは、私のほうから武蔵野市歴史公文書等の利用等に関する規則の一部を改正する規則についてご説明申し上げます。

本規則は、武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館の歴史公文書等の利用、保存及び廃棄について必要な事項を定めた規則で、今回改正する第4条は、武蔵野ふるさと歴史館が保存する歴史公文書等の利用申請に際して、本人であることを示す書類を規定するものでございます。

本人であることを示す書類として、現規則では、健康保険証の被保険者証を挙げているところ、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律等の施行に伴い、各健康保険証の被保険者証が廃止されることから、字句の削除を行うものでございます。

以上、説明を終わります。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。

森田委員。

○森田委員 これは健康保険証がマイナンバーカードになるからということの一環ということですかね。

○清水教育長職務代理者 ふるさと歴史館担当課長。

○高橋武蔵野ふるさと歴史館担当課長 委員お見込みのとおり、健康保険証が令和6年12月2日以降、新規及び再発行されなくなるため、確認書類として削除するものでございます。

以上でございます。

○清水教育長職務代理者 よろしいですか。

○森田委員 この手の改正が今後もほかの規則で出てくるようなことはあるんですかね。

○清水教育長職務代理者 ふるさと歴史館担当課長。

○高橋ふるさと歴史館担当課長 今回の改正につきましては、この12月2日以降の健康保険証に関しまして、全庁的に自治法務課で該当するものをピックアップしていただきまして、今回該当したものでございます。ですので、今回の改正に関するものについては、教育委員会所管としてはここまできなと思っているところでございます。

以上です。

○清水教育長職務代理者 よろしいですか。

それでは、質問がないようですので、武蔵野市歴史公文書等の利用等に関する規則の一部を改正する規則について、承認いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、承認されたものといたします。

◎協議事項

○清水教育長職務代理者 続きまして、協議事項1、武蔵野市営プールの整備方針（案）についてを議題といたします。

本件には、報告事項6、武蔵野市立武蔵野プール及び武蔵野温水プールの整備方針に関する有識者会議報告書についてが関連することから、これらを一括して取り扱います。

それでは、説明をお願いいたします。

スポーツ推進担当課長。

○茂木生涯学習スポーツ課スポーツ推進担当課長 それでは、議案の1、武蔵野市営プール整備方針（案）についてご説明いたします。

まず、整備方針策定の目的でございます。市営プールは、平成元年、1989年に竣工した温水プール、昭和57年、1982年に竣工した管理棟、さらに戦前より使用されている屋外プールから成り、老朽化による施設の不具合が多く見られ、多額の費用を要してございます。

また、この間、バリアフリー化の推進やスポーツの多様化など、社会的ニーズの変化により、部分的な改修や修繕のみでは難しく、施設の全面的な更新が必要な状況となっております。このことから、障害の有無にかかわらず、幼児から高齢者まで、快適かつ安全・安心に年間を通して利用できるプールであることが武蔵野市のスポーツ施設としての役割であるとともに、見るスポーツ、障害者スポーツの促進、エリア一体の良好なまちづくり、災害時の対応など、複合的な取組を検討していくことを目的として本整備方針を定めるものでございます。

まず、最初に今後のスケジュール等を申し上げます。この後、11月12日に文教委員会にて行政報告いたします。その後、11月15日から28日の期間でパブリックコメントを実施し、必要な修正を行って、令和7年1月8日の教育委員会定例会にてお諮りいたします。

令和7年度には基本計画を策定し、令和8年度から9年度にかけて基本・実施設計を行い、令和9年度から11年度にかけて工事を行う予定でございます。

それでは、武蔵野市営プールの整備方針（案）についてご説明してまいります。

まず、冊子をお開きいただき、目次をご覧ください。この方針（案）は4章立てにな

っております。第1章で方針の策定にあたって、とし先ほど申し上げた背景と目的、現上と課題を記載してでございます。第2章では、整備に向けた検討経緯を記載してございます。第3章にて、市営プール整備に向けた基本方針を述べております。第4章では、今後検討すべき課題を4つ挙げてございます。

1 ページ目をお開きください。背景と目的は先ほど申し上げたとおりでございます。

2 ページの現状と課題でございます。市営プールは温水プール、屋外プール及び管理棟で構成されてございます。温水プール等は、平成元年、1989年竣工、管理棟は昭和57年、1982年竣工、屋外プールは戦前から使用されているものでございます。基本情報で2 ページ、3 ページ、建設概要が記載してございます。

4 ページには直近の修繕工事費用が記載してございます。なお、年間利用者数は、令和2年から令和4年度は利用制限があったため除外してございます。

5 ページをご覧ください。使用方法でございます。

市営プールを全面貸切りで行っている大会は、春季と秋季の市民スポーツ大会、水球の大会、アクアスロン大会の年4回でございます。このうち屋外プールも含めて使用する大会は、秋季の市民スポーツ大会とアクアスロン大会の2回のみでございます。

7 ページをご覧ください。

施設の課題を建屋ごと記載してございます。管理棟でございますが、屋外プール用に建設されたもので、温水プール増築後も管理棟として継続利用されているため、動線やバリアフリーに課題が多くございます。また、エレベーター設備がございません。ウェットエリアとドライエリアの明確な区分ができておりません。老朽化による衛生環境が悪い状況にございます。

温水プールでございますが、プール床材が劣化しています。また、屋内の幼児用プールやジャグジー施設等がございません。移動壁、移動のスライディングパネル、天井稼働トップライトが、劣化のため一部開閉ができない状況になってございます。

屋外プールでございますが、床材の劣化が激しい状態です。また、水深が1.7メートルと深く、非常に使い勝手が悪い状況になってございます。プールサイドは日よけがなく、夏場の炎天下の利用に支障が出てございます。

プールの周辺、外構でございますが、敷地内から車両進入のための幅員が狭く、クラックしており、緊急車両等の通行の障害となつてございます。また、歩道が狭く、安全歩行空間創出のためにセットバック等が必要と考えられます。

8ページから10ページは、既存施設の課題箇所を平面図に落とし込んだものでございます。5つの視点から見てございます。

まず、外部から見た視点と安全性、運営面、ユニバーサルデザイン、快適性が10ページまで記載してございます。

第2章に入ります。整備に向けた検討経緯でございます。

令和3年度に策定いたしました第二期武蔵野市スポーツ推進計画策定の中で、市営プールの今後の在り方について、災害への取組や周辺のまちづくり、スポーツ施設の再編、施設の現況、利用状況、敷地内における通行など、複合的に勘案して3つの検討案を検討いたしました。

その結果、案3の温水プール管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する、この方向性が示されました。

12ページをご覧ください。

令和4年度に第二期武蔵野市スポーツ推進計画の中で示された案について、市民ニーズ把握のためにアンケート調査を実施いたしました。アンケート調査では、案3が6割弱支持されております。また、現場のヒアリング調査でも、利用者の7割弱の方が案3を支持しております。ワークショップでは、建設的な意見が多く語られました。

13ページをご覧ください。

令和4年から5年にかけて、第六期長期計画・調整計画において、市営プールについては、現在の課題を解消しつつ、さらなる市民のスポーツ推進を図るため、屋外プールの廃止を支持する市民アンケートの結果も考慮し、誰もが利用しやすいプールの充実に検討する。と記載がございました。

これを受けまして、4の市営プールの整備に関する有識者会議の設置をいたしました。第二期武蔵野市スポーツ推進計画で示された方向性、武蔵野市第六期長期計画・調整計画策定委員会での議論を踏まえ、有識者への意見を聴取し、または助言を求めるため、今年度、有識者会議を設置いたしました。委員の方は5名から成ります。2回の実地踏査と4回の会議を重ねてございます。

14ページからは会議の内容を記載してございます。

主な意見及び助言の要旨でございます。まずアとして、建て替えの必要性についてでございます。建て替えを行うことで大概の課題が改善できると考える。エレベーターが未整備なのは致命的である。既存施設の改修ではどうしても改善できない点が幾つも見

られた。

15ページでございます。

イの屋外プールについては、屋内プールに一本化する方針でよいと考える。周辺施設と一体的に活用できるスペースとして整備することも考えられる。屋外で幼児や親子が水に親しむことのできるスペースの整備も考えられる。

ウとして、バリアフリー設備についてでございます。多目的更衣室は、一般更衣室エリア内に整備することが望ましい。車椅子の方でも一般の更衣室を使えるように整備することが望ましい。プール以外の更衣室などで面積を十分確保する必要があるというものでございます。

また、家族更衣室の設置は優先度が高い内容であり、異性の介助、家族の介助、知的障害者の利用からも必要な設備と考えるものでございます。

エとして、誰もが利用しやすいプール施設についてでございます。

今までの施設だと使えなかった、また、使うことを控えていた人たちを改築によって利用してもらえるようにすることが大切であるということ、また、子育て支援の視点を取り入れた計画とすることが重要である。屋外プール廃止により生まれるスペースを日常使い、子どもたちが遊べる場所として整備する選択肢も考えられるというものでございます。

オとして、周辺整備や付帯機能についての議論もございました。プールの顔となる部分が市道17号線側にも開く構成になればよいのではないかと。全体を結ぶ場所として考慮した計画が重要である。エリア内の連携を考え、総合体育館のスポーツの用途と関連した機能が考えられる。

また、大会や団体利用の際、休憩や、集まって話合いが行えるようなスペースが必要であるというものでございます。

その他として、隣接するクリーンセンターの排熱利用施設等、周辺施設と連携したエネルギー有効利用の取組を積極的にアピールしていくことも重要であるという意見も述べられました。

全体の配置図を記載してございます。詳しくは武蔵野市立武蔵野プール及び武蔵野温水プールの整備方針に関する有識者会議報告書をご覧くださいと思います。

17ページ、5でございます。

今まで説明しました検討の流れでございます。まず、令和3年度の第二期武蔵野市ス

スポーツ推進計画策定において方向性を示し、令和4年度、市民アンケート等で市民ニーズを把握しました。令和4年、5年、武蔵野市第六期長期計画・調整計画の中で専門的な視点を持った検討も必要であるという意見等を受け令和6年度に有識者会議を設置し、ご意見をいただいたところでございます。そしてこの整備方針をまとめました。

第3章でございます。基本方針でございます。

これまでの検討を踏まえ、基本方針を、現在の課題を解消しつつ、さらなる市民スポーツの推進を図るため、誰もが利用しやすいプールの充実を図るといたしました。

現状の市営プールには様々な課題があり、建て替えをもって解決していく必要があり、誰もが利用しやすい視点で、一般的な競泳用屋外プールの設置ではなく、屋外の開放感やレジャー要素を含んだ施設、多目的なコミュニティスペース等を整備する等、エリア全体のサービス向上につながるよう付加機能、付加価値を考えた整備を目指すものでございます。

本方針の位置づけでございますが、最上位には武蔵野市第六期長期計画等がございます。その下には第2期武蔵野市公共施設等総合管理計画がございまして、その下に並列ではございますが、第二期武蔵野市スポーツ推進計画と武蔵野市立体育施設類型別施設整備計画がございます。その下に本方針がございます。

19ページをご覧ください。

基本方針の中で5つのコンセプトを示しております。まずアとして、誰もが利用しやすいプールとし、誰もが気軽に利用できる環境を整備する。競泳利用のみならず、健康増進からレクリエーション利用まで幅広いニーズに対応できる施設の充実を目指すものでございます。

イとして市民の交流の場の創出でございます。利用者同士の交流が自然と生まれ、明るく開放的な空間を整備する。エリア全体の憩いや休憩のスペースとして整備も検討するというものでございます。イラストでございますが、整備方針策定時に作成したイメージ図でございます。ご参考ください。

20ページでございます。

ウとして、安全性・快適性への配慮でございます。緊急時の安全管理を徹底する。プールの水質管理や清潔で使いやすい安心で快適に使える施設を目指すものでございます。

エとして、環境にやさしいプールでございます。クリーンセンターの排熱利用をはじめ、省エネ機器の採用等、環境にやさしい施設を目指します。周辺施設と連携し、エネ

ルギーの有効活用の取組を積極的に発信できる施設とするということでございます。

オとして、周辺施設と一体的なまちづくりでございます。安全な歩行空間の創出、エリア玄関口としての広場整備等、誰もが訪れたい魅力的なまちづくりを実践していくというものでございます。また、災害活動拠点としての機能向上も図るというものでございます。

この5つのコンセプトは、関連図が記載してございます。ご参考にご覧ください。

21ページになりますが、求められる機能として設備ごとに記載してございます。

①メインのプールでございます。競技用プールとしての機能はもちろんです、入水用のプール、階段設置等、誰もが利用しやすいプールとする。十分なレーン数の確保を検討する。

②としてサブプールでございます。親子スイミング、ウォーキング、リハビリ利用等、多目的に利用できるプールを整備するものでございます。

③レクリエーションプール、幼児利用のほか、家族やレクリエーションでの利用も想定したプールの整備をするものでございます。

④プール利用を快適にするための機能でございます。ジャグジー機能、採暖室の設置等を検討するものでございます。

⑤多目的スペースでございます。大会時の待機場所、団体教室利用等の運動スペース、フィットネス利用等、多目的に利用できるスペースを整備するものでございます。

⑥飲食・休憩スペースでございます。利用者の交流スペースとなる明るく開放的なラウンジを整備するものでございます。誰もが気軽に立ち寄ることのできるスペースとして整備するものでございます。

⑦観覧ラウンジです。観覧できるラウンジを整備するものです。

⑧多目的トイレ・多目的更衣室でございます。障害者、親子利用等、様々な多目的トイレ、多目的更衣室を整備するものでございます。

最後に第4章となります。今後検討すべき課題でございます。

次の検討すべき課題として整備に関する基本計画を策定するため4つ挙げてございます。

まず1として、施設の規模でございます。市営プールの整備方針及びコンセプトを満たし、利用者の利便性に考慮した機能を最適に配置できる設備規模とします。

2でございます。設備・機能の詳細でございます。第3章、市営プール整備に向けた

基本方針に求められる機能に基づき、利用者のニーズ等を考慮した上で、導入する設備や機能の詳細を決定するものでございます。

3として、整備スケジュールと事業方針の検討でございます。令和8年度から10年度までに予定される武蔵野市総合体育館の大規模改修スケジュールとの整合を図った上で、現実的な事業方式と整備スケジュールを決定するものでございます。

4でございます。社会情勢等に配慮した整備計画でございます。

昨今の急激な建設費の高騰の影響は大きく、今後さらに公共施設や都市基盤整備の更新、整備等に多額な費用が見込まれます。市営プールの整備に関しても、これらの社会情勢等に配慮した整備を進めてまいります。

大変長くなりましたが、説明は以上になります。よろしくご審議ください。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。
岸本委員。

○岸本委員 ご説明ありがとうございます。整備の方針に賛同いたします。

20ページのウの安全性の中の安心で快適というところ、これから申し上げることはちょっと文字には書き込みにくいことですが、昨今問題になっているのがプールで不適切な視線への対応ということがあります。全体としては開放性ということで良いと思うんですが、必要に応じて不適切な視線から主に子どもを守る何か設備的な工夫を今後安心で快適という実現の中で具体的に探っていただくと期待いたします。

○清水教育長職務代理者 ほかに。

森田委員。

○森田委員 新しいプールができるのは楽しみだなと思うんですが、使用料を上げたりとかというのは検討されるんでしょうか。結構安くていいなと思っているんですけども、こんなに安くていいのかなとも思いつつ……。

○清水教育長職務代理者 スポーツ推進担当課長。

○茂木生涯学習スポーツ課スポーツ推進担当課長 使用料に関しましては、施設の整備とは別のお話になってまいります。現在、夏季に低料金で行っています取組等は引き続き実施してまいりたいと、主管課では考えているところでございます。

○清水教育長職務代理者 岩崎委員。

○岩崎委員 ポイントは、一つは温水プールに統一されるということと、それから二つ目は多目的、コミュニティスペースということかと思えます。多目的コミュニティスペー

スに関しては、やはり人が集まる場はどこでも必要なので、いろんな施設でこういう場が確保されるということはとてもいいと思います。

温水プールに関しての意見ですが、この環境に優しいプール、クリーンセンターの排熱利用先であることをもっとアピールすべきと書かれています。排熱利用、持続可能なエネルギー利用といったことをどのように市民や社会全般にアピールしていくのか、いわゆる武蔵野市のイメージアップにもすごく良いので、どのようにシティセールス的に考えていくのかをお聞きしたいということが1点です。

それから、周辺施設、市役所などこの地域を一体的なまちづくりにするということが書かれています。これもとても大事なことで、既存の施設に対して、新しくできるこの温水プールという新規の施設をどのようにどこで、マスタープラン的にコンセプトをつくってまちづくりをするのかを教えてくださいたいというのが2点目の質問です。

○清水教育長職務代理者 スポーツ推進担当課長。

○茂木生涯学習スポーツ課スポーツ推進担当課長 まず、第1点目の環境政策のPRについてでございますが、現在、クリーンセンターからのバイオマスエネルギー供給の設備が、地下に設置され一般には見えない状況になってございます。お見せすることは難しいですが、1階のロビー等にデジタルサイネージ等を設置し、熱源元からのエネルギーの供給の流れが表示できるよう、なるべく利用者の皆様に分かりやすいアピールができるよう考えてございます。具体的には、この後つくります基本計画、基本設計の中で提示してまいりたいと考えているところでございます。

2番目のまちづくりの観点でございますが、屋外プールがなくなることによる施設の整備に伴いまして、例えばクリーンセンター、市役所、陸上競技場、総合体育館もあるこのエリアを玄関口として快適に訪れられるような設えができるよう考えているところでございます。

具体的には、この後つくります基本計画、基本設計や実施設計の中でお示ししていきたいと思っております。

以上でございます。

○清水教育長職務代理者 岩崎委員。

○岩崎委員 これから細かいことを決めるということなので要望ですが、1点目は、エネルギーの循環という意味で学校教育の教材にもなるので、学校教育、あるいは市民対象の生涯学習などでも活用いただきたい内容だと思ったということが1点です。

それから、2点目に関しては、エコ・システムというのでしょうか、生態系的に施設のつながりを基にコンセプトをつくるなど、少しユニークな発想でここにある施設のつながりを考えてコンセプトをつくってもらえると面白いかなと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 ありがとうございます。

ほかによろしいでしょうか。

それでは、協議事項1、報告事項6については、説明のとおり了承したいと思います。

◎報告事項

○清水教育長職務代理者 次に、報告事項に入ります。

報告事項2、武蔵野市教育委員会児童生徒表彰実施要綱の一部を改正する要綱についてです。

それでは、説明をお願いいたします。

教育企画課長。

○牛込教育企画課長 報告事項2、武蔵野市教育委員会児童生徒表彰実施要綱の一部を改正する要綱について説明をします。

こちらについては、教育委員会では、児童・生徒の優れた活動を表彰して、学校教育を一層充実させるため、毎年各校からの推薦を受けて3月に表彰式を行っております。その実施要綱を改正するものでございます。

中身としましては、まず第2条につきましては、この表彰の対象が市立小・中学校に在籍する児童・生徒であることから、この対象となる団体についても、市立小・中学校に在籍する児童で構成する団体ということで明確化するものでございます。

もう一点、第5条につきましては、これまで推薦者を学校の校長のみに限定しておったんですけれども、より幅広く推薦を受けるために、保護者からの推薦ということで推薦者を広げる改正でございます。

そして、別添1、2については、この改正に対応するため、様式の一部変更をしたものでございます。

説明については以上でございます。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。

よろしいですか。

それでは、この報告事項につきましては了承されたものといたします。

次に、報告事項に入ります。

報告事項3、武蔵野市立学校給食弁当代替者補助金交付要綱の制定についてです。

それでは、説明をお願いします。

教育支援課長。

○**祐成教育支援課長** それでは、武蔵野市立学校給食弁当代替者補助金交付要綱についてご説明します。

これは、今年度から武蔵野市の学校給食が無償になりましたので、その中でお弁当を持ってくる方、主に食物アレルギーで全く給食を食べることができない方と、あと宗教上の理由により給食が全く食べられない方に対して補助を行うというものでございます。

第4条のところで、実施計画に定める給食費の額を補助する予定です。低学年が260円、高学年280円、中学生は340円ですね。中学年は270円ですけれども、第5条の申請によって補助を行うというものでございます。これは当初想定していた給食を食べられない子に対して補助を行うということで要綱を作成しました。

説明は以上になります。

○**清水教育長職務代理者** ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。
森田委員。

○**森田委員** 申請理由が2つありまして、先ほどおっしゃられたようにアレルギーと宗教上の理由ということだと思んですが、不登校の子はどういう扱いになるんですかね。

○**清水教育長職務代理者** 教育支援課長。

○**祐成教育支援課長** 不登校という理由でお金を出すということは考えておりません。基本的には学校に来る理由を断ち切ってしまうようなことはしませんので、不登校に関しては、給食を提供するというような流れになっています。以前お話ししたかもしれませんが、金曜日に桜堤調理場で不登校の子向けに学校給食の提供というのを始めておりまして、実はコンスタントに三、四人来ていただいて、給食を食べていただいています。なので、ぜひ給食を食べに来なよというのは不登校の子に対する学校に足を向ける理由の一つになりますので、それに対しては大事にしていきたいと考えております。

以上です。

○**清水教育長職務代理者** よろしいですか。

それでは、この報告事項につきましては了承されたものといたします。

次に、報告事項4、令和6年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査報告についてです。

それでは、説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、私から令和6年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査報告をいたします。

本調査は、児童・生徒の体力の現状把握とともに、その結果を学校や児童・生徒に還元し、一人一人が自ら課題意識を持って体力向上に取り組むことができるようにすることを目的としております。

初めに、令和6年度の体力・運動能力の結果でございます。昨年度と同様、小学校1から3年、4から6年、中学校という形でまとめております。東京都の平均を1と見た場合に、本市の平均がどの程度であるかレーダーチャートに表しました。この結果を見ると、小学校低学年は全体的に体力、運動能力が低い状況にあります。一方で学年が上がるにつれまして東京都の平均との差が縮まり、中学校では多くの種目で東京都よりやや高い結果となりました。昨年度までも同じような傾向となっており、本市の特徴と捉えることができるかなと考えております。

次に、今年度より質問紙調査が電子入力になりまして、任意のクロス集計ということが行いやすくなりましたことから、そのことを踏まえて質問紙調査に係る考察をしていきたいと思っております。下のところをご覧ください。

まず、「体育の授業中に上達したことがあるか」と「運動・スポーツをすることが好きか」についてでございます。それと、「運動・スポーツをすることが好きか」と、「スポーツ大切さを認識しているか」と「運動・スポーツをすることが好きか」、こちらのクロスを見ていきたいと思っております。

まず、体育の授業でできるようになったことがあると答えた児童・生徒は、ややあると答えた児童・生徒と比べて、運動やスポーツが好きな割合というのが有意に差が出てきました。

また、その右側でございますけれども、運動・スポーツの大切さを理解しているお子さんと、運動やスポーツが好きな児童・生徒の割合についても同様となっております。これらのことから、体育の授業の中では、指導方法の工夫等で技能の向上を図るということもそうですけれども、運動そのものの大切さ、そういったことも理解できるように

学習活動を工夫していくことが大切だということが分かってきました。

裏面をご覧ください。

続きまして、第三期学校教育計画の施策の基本的な考え方の一つでございますが、自信を高め意欲を育む教育と、この運動等についての関係についても分析をいたしました。

まず、運動・スポーツをすることが好きな児童・生徒と自信と意欲の関係についてということで、運動・スポーツをすることが好きな児童・生徒は、やや好きと答えた子と比べまして、日頃の生活において失敗を恐れず、様々なことに挑戦する意欲が高いということがこちらの結果を見ていただくと分かるかなというふうに思います。例えば、小学校5年生であれば、「失敗を恐れない」「挑戦している」、そして、「好き」というところを見たときに51.3%の子がしているというふうに答えております。

一方で、「やや好き」と、「失敗しないで挑戦しようとしている」に見てみると16.3というところになっておりますので、差が出てきているというところでございます。

次に、生活習慣と自信と意欲の関係というところで、運動だけではなく、朝食を毎日食べることや決まった時刻に寝る子についても、時々食べない子やほぼ決まっている子と比べて高い数値となっていることがこちらの結果を見ていただくと分かるかなと思います。例えば、小学校5年生であれば、「朝食を毎日食べる」と「失敗を恐れないで挑戦している」と答えた子が44.5%となっておりますが、「時々食べない」ということと、「失敗を恐れないで挑戦している」というところを見ると22.4%となっております、大分差が出ているというところでございます。

また、隣ですが、「寝る時刻は決まっている」と「失敗を恐れないで挑戦している」というところを見ても62.7%に対して、「ほぼ決まっている」と「失敗を恐れないで挑戦している」ということに関しても38.8%ということになっております。

これらのことから、引き続き保健指導をはじめとして、規則正しい生活習慣の定着というところが子どもたちの自信と意欲というところにも充実につながっていくのではないかなというふうに考えるところでございます。

最後に、日頃の運動習慣と自信と意欲というところについても見ていきたいと思えます。

まず、運動やスポーツの実施状況、授業以外でほとんど毎日している子についても、失敗を恐れないで挑戦していると答えた子が53%、小学校5年生の場合はございます。一方で、ときどきと答えた子で失敗を恐れないで挑戦していると答えた子につきまして

は29.9%というふうになってございます。

これらのことから、矢印部分でございますけれども、小学校においては、体育の授業を中心に運動をして遊ぶことに対して、運動して遊ぶ魅力を体感できるということと同時に、現在も他課との連携というところで行きますと、放課後もしくは朝のあそべえ等を行いまして、運動に親しむ機会ということをやっておりますけれども、こうやったことを今後も大事にしていくということが大事になってくるかと思えます。

また、中学校におきましても、体育の授業を中心に日常的に運動に親しむことの大切さというところを理解するとともに、運動部活動の持続可能、運営というところで子どもたちのそういった運動機会の確保ということをしかりとやっていきたいというふうに思っているところでございます。

報告内容としては以上でございますが、(2)はこの調査の結果を次年度の教育課程との編成等に生かして、体力向上もしくは運動及び生活習慣等を総合的に高めていくよう指導、助言をしていきたいと考えております。

以上でございます。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。

森田委員。

○森田委員 ソフトボール投げ、ハンドボール投げがやっぱりあまり良くないというのがあるんですけども、ほかの上体起こしだったり、反復横跳び、シャトルランとかが運動能力としては非常によく分かるんですが、物を投げるというのは実はそんなに大事じゃないんじゃないかなという気もするんですけど、あまり使わないので、これでも何か伸ばしていこうという現場の意欲はあるんでしょうか。

○清水教育長職務代理者 統括指導主事。

○高丸統括指導主事 大変厳しいところをご指摘いただいたなというふうに思います。

ソフトボール投げ、また握力の弱さというところは、本当に経年で見ていたときにもやはり徐々に徐々に下がってきているということはあって、確かに課題の一つであるというふうに我々も認識をしています。

ただ、一方で森田委員がおっしゃったように日常生活の中で物を投げるという場面というのは、やはりなかなか確かにないというところもありますし、本市の校庭の広さ等を考えると、思い切り投げたりということがなかなかやっぱり難しいというところがあります。

各校では、その中でも、やはりここに課題を感じて、例えば投げ方の指導というところをするだけでかなり数字が上がったりというところがあったりしますし、そういった投げる機会というのを運動を授業の帯の中でちょっと取り入れたいというところで工夫したりということはするというのはございます。

そういったところで工夫しているところはありますけれども、やはり全体として見たときに、先ほどお話しさせていただいたように、機会の確保ということから、ほかの運動に比べるとなかなか難しいところもあって、数値としてはなかなか伸びが難しいということは現状でございます。こちらについては、学校ともさらにどういった取組が考えられるか一緒に工夫していきたいというふうに思います。

○清水教育長職務代理者 ほかにありますか。

岩崎委員。

○岩崎委員 デジタル化が進んでくると、バランスを取るために自然体験とか身体性などリアルなものがすごく重要になると思っているところです。

それで質問ですが、日本の体育は体力や運動能力など、技能に着目することが多い印象があります。運動そのものを大切にするという考えが重要というご説明がありましたが、例えば運動機能以外に日常的な体力向上という点では、身体性に注目して呼吸法、深呼吸、ヨガ、ダンス、そういうことも大事になってくるような気がしています。学校教育で、競う、数字を上げて技能を上げるとか、そういうことではなく、もっとリラックスするような、副交感神経を優位にするような内容を体育や学校教育で取り扱うという例はあるのでしょうか。

○清水教育長職務代理者 指導課長。

○荒井指導課長 実際に、そういった校内研究を行った学校というのは、過去、本自治体ではございませんが別の自治体でございます。事例としては、よく朝読書とか朝のドリル学習などをやる学校が多いと思うんですが、あの時間に、座ってできるヨガを全校で実践するという中学校の事例ですね。それから、体育の授業で同じくヨガを取り入れた授業を実践すると、準備運動にヨガを取り入れるという事例を私も参観をしたことがあります。

今後は、本市の場合ですと、現在、部活動の地域連携、地域移行に向けた取組の検討をしている中ですが、その提案の中には、いわゆるゆる部活という表現で、そういったものの検討も必要ではないかという意見も出ておりますので、委員のおっしゃった事例

なども今後は再注目されていくのではないかと思います。

○岩崎委員 ありがとうございます。

ストレスのある子は肩に力が入っているとよく聞くので、学校生活が楽しく暮らせるように、肩の力が抜けるような運動とかをもっとやっていってもいいんじゃないかと思うところです。よろしくお願いします。

○清水教育長職務代理者 岸本委員。

○岸本委員 こちらの調査項目というのは、東京都のほうでも項目が決まっているんですね。分かりました。ありがとうございます。

○清水教育長職務代理者 それでは私から、表面のレーダーチャートなんですけれども、これは毎年調査の後、必ず出されるものなんです。大体記憶にある中では傾向は似ていると思うんですが、この小学校の低学年と高学年と中学校ということで、対象の児童・生徒は違うんだけど、この見方として、これ見ていくと低学年よりも高学年のほうが武蔵野市のチャートが大きくなっていますね。そして、中学に行くとさらに大きくなっている。これはやっぱり体育の授業であるとか、体育的な各学校の取組が少し成果が出てきているというように解釈していいんじゃないかなと私は思います。

毎年出てくる課題として、ソフトボール投げであるとか握力だとかというのは毎年出てきていることなんですけれども、これはやはりその運動に取り組むことによって必ずその成果は上がってくるだろうと思います。

例えば、私みたいな高齢者であっても、最近握力がすごく落ちたなというふうに思って、握り締めるトレーニング用具があるんですけれども、50回ぐらいやるともう指ががつて動かなかったのが、ずっと続けていると100回超えるんですよ。子どもはもっともっと、やはり成長段階ですから筋力ついてきますので、投げるとか、あるいは物をつかむとかというような運動を意図的に取り入れていくということによって武蔵野市の課題が克服されていくことを期待しています。

それから、統括指導主事からのご報告にあったんですけども、裏面の自信と意欲とか、生活習慣と自信と意欲、運動習慣と自信と意欲というこの相関関係の分析ですね。これは、伺っていてとてもよく分析されたなと思いました。それを次年度の教育課程に生かしていくというのも、私も大賛成です。その次年度に生かすまでのこの期間ですね、各学校に、やっぱり先生方がこれを受け止めて、よしやっ払いこうという、その機会にしていきたいなど。そのためにも、いろいろな機会があると思いますけれども、機会

を捉えて、今日ご説明くださった内容をぜひ学校のほうにも繰り返し伝えていただきたいと思います。

以上です。

では、よろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては了承されたものといたします。

次に、報告事項5、武蔵野ふるさと歴史館のリニューアルオープン式典及び記念イベント等の開催についてです。

それでは、説明をお願いいたします。

生涯学習スポーツ課長。

○高橋生涯学習スポーツ課長 それでは、私のほうから武蔵野ふるさと歴史館のリニューアルオープン式典及び記念イベント等の開催についてご報告いたします。

武蔵野ふるさと歴史館常設展示室のリニューアル等につきましては、さきの定例会にてご報告を申し上げましたが、リニューアルオープンに伴う式典及び記念イベント等につきましてご報告いたします。

式典につきましては、ふるさと歴史館関係者、こちら当然教育委員の皆様含まれるところですが、大変申し訳ございません、ご案内がちょっと遅れておまして、改めてご案内させていただきますが、令和6年12月14日のリニューアルオープンの日に午前10時から開会させていただきます。内容は記載のとおり、ご挨拶や武蔵野ばやしの演奏をお楽しみいただき、歴史館学芸員やふるさと歴史館が実施する生涯学習講座、歴史館大学で日頃より学ばれている受講生による説明ガイドツアーを開催いたします。

式典以外のイベントにつきましては、リニューアルオープンの日の午後になりますが、式典にご出席の方に実施いたしますガイドツアーを一般のご来場の方も対象にして実施し、この日ご来場の方には、濱家住宅西洋館の一般公開の際に配布いたしました濱家住宅西洋館のペーパークラフトを再度配布いたします。

また、リニューアルオープンの日から令和7年2月13日まで、武蔵野市内文化財をめぐるデジタルスタンプラリーを開催いたします。

資料3の展示情報等につきましては、今回のリニューアルオープンの日から企画展は市立小学校3年生が見学にいらっしゃる学校教育連携展示として、武蔵野の暮らしを探究、小学生の一日今昔を特集展示しまして、特集展示は歴史館大学の受講生が学んだ成果を発表する機会といたしまして、成果展示を行うところでございます。

来年度以降もこうした成果展示の取組を予定しておりまして、今回は第1回ということになります。開館10周年を記念いたしまして、10年の歩みをポスターやフライヤーを通して振り返る展示も実施するところがございます。

以上、ご報告を終わります。

- 清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問、ご意見がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。
- それでは、この報告事項につきましては了承されたものといたします。

◎その他

- 清水教育長職務代理者 次に、その他です。その他として何かございますか。
- 牛込教育企画課長 ございません。
- 清水教育長職務代理者 それでは、これをもちまして本日の公開部分の議事については終了いたしました。

次回の教育委員会定例会は、令和6年12月3日火曜、午前10時から開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

会議の初めに申しましたとおり、これより会議を非公開といたしますので、傍聴者の方はご退席をお願いします。

(傍聴者退室)

午前11時11分 公開部分議事終了